

[085_03-04] 法政研究表紙奥付

<https://hdl.handle.net/2324/2230980>

出版情報：法政研究. 85 (3/4), 2019-03-08. 九州大学法政学会
バージョン：
権利関係：

赤松秀岳 教授 著作目録

I 著書

- 1 本城武雄・月岡利男編『物権法』(分担執筆) 嵯峨野書院 一九八七年
- 2 椿寿夫・右近健男編『ドイツ債権法総論』(分担執筆) 日本評論社 一九八八年
- 3 土居靖美・森脇隆・目崎哲久編『設例法学入門』(分担執筆) 嵯峨野書院 一九八九年
- 4 『物権・債権峻別論とその周辺——二十世紀ドイツにおける展開を中心に』 成文堂 一九八九年
- 5 半田正夫・近江幸治・池田真朗・本田純一・右近健男編『スリーステップ民法ゼミナール・問題とヒント』(分担執筆) 一粒社 一九九二年
- 6 椿寿夫・右近健男編『注釈ドイツ不当利得・不法行為法』(分担執筆) 日本評論社 一九九〇年
- 7 中井美雄編『債権総論』(分担執筆) 青林書院 一九九三年
- 8 湯浅道男編『初めて学ぶ民法Ⅰ民法総則・物権法』(分担執筆) 成文堂 一九九四年
- 9 『口述講義債権総論』 信山社 一九九四年
- 10 『十九世紀ドイツ私法学の実像』 成文堂 一九九五年
- 11 右近健男編『注釈ドイツ契約法』(分担執筆) 三省堂 一九九五年
- 12 畑安次・舟越耿一編『デモクラシーと憲法』(分担執筆) ミネルヴァ書房 一九九九年
- 13 『叢書民法総合判例研究・賃借権の侵害』 一粒社 二〇〇〇年
- 14 Hidetake Akamatsu, Joachim Rückert (Hrsg.),
FRIEDRICH CARL VON SAVIGNY Politik und Neuere

- 15 松井宏興編『民法の世界2 物権法』(分担執筆) 信山社 二〇〇二年
- 16 平井一雄編『民法Ⅱ(物権)』(分担執筆) 青林書院 二〇〇二年
- 17 椿寿夫・新美育文編著『解説・関連でみる民法Ⅱ』(分担執筆) 日本評論社 二〇〇七年
- 18 奥田昌道・池田真朗・潮見佳男編『法学講義・民法4債権総論』(分担執筆) 悠々社 二〇〇七年
- 19 勝田有恒・山内進編著『近世・近代ヨーロッパの法学者たち
——グラートティアヌスからカール・シュミットまで——』(分担執筆) ミネルヴァ書房 二〇〇八年
- 20 池田真朗編著『現代民法用語辞典』(執筆項目「債権」「持参債務」「種類債権」
「制限種類債権」「送付債務」「特定」「特定債権」「特定物・種類物」「特
定物債権」「取立債務」) 税務経理協会 二〇〇八年
- 21 『新外国証券関係法令集・ドイツ(新訂)』(共訳) (財)日本証券経済研究所 二〇〇九年
- 22 七戸克彦監修、日本司法書士会連合会・日本土地家屋調査士会連合会編
『条解不動産登記法』(分担執筆) 弘文堂 二〇一三年
- 23 松岡久和・山野目章夫編著『新・判例ハンドブック【物権法】』(分担執筆) 日本評論社 二〇一五年
- 24 『ロースクール演習民法』 法学書院 二〇一五年
- 25 『基本演習民法』 法学書院 二〇一七年

II 論文

- 1 「第三者の債権侵害に関する一考察——ドイツにおける学説史の一端(一)——」(二・完)

- 2 「物権概念の『柔軟化』について——ライザーの物権法論によせて」
『同志社法学』一七四号 一九八二年
- 3 「ライザーの所有権論に関する一視点——『自由の適正な行使について（一九八二）』を中心に」
『同志社法学』一八五号 一九八四年
- 4 「ドイツにおける物権・債権峻別論の展開」
『徳島文理大学研究紀要』三一号 一九八六年
- 5 「ドイツにおける物権・債権峻別論の展開」
『徳島文理大学研究紀要』三三三号 一九八七年
- 6 「『法的論理』と物権・債権峻別論——エールリッヒに依拠して」
『私法』四九号 一九八七年
- 7 「ナチス法学と物権・債権峻別論」
『徳島文理大学研究紀要』三四号 一九八七年
- 8 石田喜久夫・赤松秀岳「業種別にみた消費者保護——不動産取引」
『徳島文理大学研究紀要』三五号 一九八八年
- 9 「トピックと日本民法学——物権・債権峻別論への示唆を求めて」
『消費者講座（第四巻）』（日本評論社） 一九八八年
- 10 「サヴィニーとナチス法——J・リュッケルトの研究をてがかりに」
『徳島文理大学研究紀要』三六号 一九八八年
- 11 「債権に基づく妨害排除の問題は、なお論ずべき点を残していないか」
関西大学法学研究所研究叢書第三冊『ナチス法の思想と現実』 一九八九年
- 12 「近代パンデクテン体系の史的素描」
椿寿夫編『講座・現代契約と現代債権の展望①』（日本評論社） 一九九〇年
- 『Jurisprudentia・国際比較法制研究』第二巻 一九九一年

- 13 「サヴィニーと物権・債権峻別論」 『熊本法学』七〇号 一九九一年
- 14 「サヴィニー研究の新たな展開」『高島平蔵先生古稀記念民法学の新たな展開』（成文堂） 一九九三年
- 15 「債権者代位権の転用——妨害排除請求権の代位行使に関する判例理論を中心に」 『谷口知平先生追悼論文集2 契約法』（信山社） 一九九三年
- 16 「法源としての法学・ヤコプスのサヴィニー研究——サヴィニー研究の新たな展開（続）」 『熊本法学』七六号 一九九三年
- 17 「ハーバースとサヴィニー——学説法（Wissenschaftliches Recht）とその可能性」 『熊本法学』七九号 一九九四年
- 18 「『概念法学』像の揺らぎについて——パンデクテン法学研究の新たな展開」 『熊本法学』八〇号 一九九四年
- 19 「民法典の体系」 『法学教室』一八一号 一九九五年
- 20 「『使命』の誕生とその情況——サヴィニーの手稿『政治。最近の諸立法』について」 『Hisoria Juris 比較法史研究——思想・制度・社会⑤』 一九九六年
- 21 「歴史法学派から法典編纂へ」 石部雅亮編『ドイツ民法典の編纂と法学』（九州大学出版会） 一九九九年
- 22 「仮登記制度とドイツ民法典編纂——帝国司法庁（Reichsjustizamt）の役割に着目して（一）〜（三・完）」 『民商法雑誌』一一九卷四＝五号、六号、一二〇卷一号 一九九九年
- 23 Bezugnahmen auf das deutsche BGB in der japanischen Rechtsprechung? Eine Fallstudie.
Ulrich Falk/Heinz Mohnhaupt (Hrsg.), Das Bürgerliche Gesetzbuch und seine Richter.

- Zur Reaktion der Rechtsprechung auf die Kodifikation des deutschen Privatrechts (1896-1914) 2000
- 24 「サヴィニーとフランス民法典——実証化するサヴィニー研究」
石田喜久夫先生古稀記念論文集『民法学の課題と展望』（成文堂） 二〇〇〇年
- 25 「私道（位置指定道路・みなし道路）の通行妨害」 『みんけん（民事研修）』五三三号 二〇〇一年
- 26 「地域福祉権利擁護事業について——契約と福祉行政の一面」
『アドミニストレーション』八卷一―二合併号 二〇〇一年
- 27 「実証的サヴィニー研究の裾野——最近のDissertationenから」
金山直樹編『法における歴史と解釈』（法政大学出版局） 二〇〇三年
- 28 「コミュニティ・ビジネスと法」
熊本県立大学総合管理学部創立一〇周年記念論文集
『新千年紀のパラダイム・アドミニストレーション（下巻）』（九州大学出版会） 二〇〇四年
- 29 「『抵当権に基づく妨害排除請求』に関する一試論」
『岡山大学法学会雑誌』五五卷三―四号 二〇〇六年
- 30 「サヴィニーの法史学講義」
河内宏・大久保憲章・采女博文・児玉寛・川角由和・田中教雄編『（原島重義先生傘寿記念）
市民法学の歴史的・思想的展開』（信山社） 二〇〇六年
- 31 Eugen-Ehrlich-Rezeption, Rechtssoziologie und Zivilistik in Japan
Wilhelm Brauner/Kazuhiko Takii (Hrsg.),
Die österreichischen Einflüsse auf die Modernisierung des japanischen Rechts 2007

- 32 Savignys Vorlesungen der Rechtsgeschichte
Ulrich Wackerbarth/Thomas Vormbaum/Hans-Peter Marutschke (Hrsg.),
Festschrift für Ulrich Eisenhardt zum 70. Geburtstag.
2007
- 33 「ロマンステイクとロマンテイク——サヴィニーにおける法学形成の断章——」
『法政研究』七五巻一号
二〇〇八年
- 34 「債権概念と債権法の意義——サヴィニーの債務法論——」『同志社法学』六〇巻七号
二〇〇九年
- 35 「ヴァイントシャイトの債権法論」『龍谷大学社会科学研究所社会科学研究年報』三九号
二〇〇九年
- 36 「ドイツ法典編纂における債務法総則——BGB部分草案とドレーステン草案」
『法政研究』七七巻一号
二〇一〇年
- 37 「民法三九九条の『歴史的意義』」
『法政研究』七八巻二号
二〇一一年
- 38 「歴史から眺める民法（債権関係）改正——サヴィニーを視座として——」
池田恒男・高橋真編著『現代市民法学と民法典』（日本評論社）
二〇一二年
- 39 Das Recht des Theaters in der Neuzeit Japans.
UFTA. Archiv für Urheber- und Medienrecht, 2012 II.
2012
- 40 Savignys Beitrag zum preussischen Urhebergesetz von 1837, sein Leben als akademischer
Lehrer und seine Rechtslehre.
UFTA. Archiv für Urheber- und Medienrecht, 2014 I
2014
- 41 Die Savigny-Rezeptionen in Japan und die Savigny-“Bilder” dabei.
Joachim Ruckert/Tomas Duve (Hrsg), Savigny international? Savignyana 13.

- Vittorio Klostermann, Frankfurt am Main, Germany
- 2015
- 42 Privatautonomie und die Schuldrechtsreform in Japan. Vertrag, "Konsens" und der Wille des Einzelnen.
- Macro Haase (Hrsg.), Privatautonomie. Aufgaben und Grenzen, Recht in Asien Bd. 15, Nomos
- 2015
- 43 Nachdruckverbot und Vorlesungen bei Friedrich Carl von Savigny. Seine Forderungen nach "Neuheit und Unbefangtheit" in den Vorlesungen und Büchern.
- UFITA. Archiv für Urheber- und Medienrecht, 2016: ii
- 2016
- 44 Ein Beitrag zu den Hintergründen für die weltweite und überzeitliche Rezeption von Savignys Rechtsdenken, insbesondere seiner Schrift Vom Beruf.
- Stephan Meder / Christoph-Eric Mecke(Hrsg.), Savigny Global 1814-2014.
- "Vom Beruf unser Zeit" zum transnationalen Recht des 21. Jahrhunderts
- 2016
- 45 「サヴィニーの法学と思想——グローバルな受容とその背景——」
- 『同志社法学』三八八号
- 二〇一七年
- 46 「転用型債権者代位権（従来の取扱いと民法改正の影響）」
- 『月報司法書士』五五八号
- 二〇一八年
- Ⅲ 紹介、解説、書評等
- 1 「ヘルムート・コツィオール著『第三者の債権侵害』（紹介）」
- 『同志社法学』一六六号
- 一九八一年
- 2 「ドイツ債権法 仮訳と解説（47）」
- （ドイツ民法第五五三条～第五五五条）」
- 『法律時報』五四卷一〇号
- 一九八二年

- 3 「債権譲渡否認権承認事件（最判昭和五六年一〇月一三日）」「相殺充当事件」（最判昭和五六年七月二日） 『判例辞典』（六法出版社） 一九八三年
- 4 「カナリス『債権の物権化』（紹介）」 『同志社法学』 一七九号 一九八三年
- 5 「ドイツ債権法・仮訳と解説（53）」（54）」（ドイツ民法第五七〇条、第五七四条）」 『法律時報』 五五卷六号 一九八三年
- 6 「ドイツ債権法・仮訳と解説（63）」（ドイツ民法第二八一条）」 『法律時報』 五七卷四号 一九八四年
- 7 「對抗力のない建物賃借権に基づく妨害排除請求（東京地判昭和五八年二月一四日）」 『法律時報』 五七卷一号 一九八五年
- 8 「ドイツ債権法・仮訳と解説（72）」（ドイツ民法第三二五条）」 『法律時報』 五七卷四号 一九八五年
- 9 「ドイツ債権法・仮訳と解説（73）」（ドイツ民法第三二六条・第三二七条）」 『法律時報』 五七卷六号 一九八五年
- 10 「不動産譲渡担保権に基づく第三者に対する目的物返還請求（大阪高判昭和五九年一〇月一六日）」 『法律時報』 五七卷八号 一九八五年
- 11 インゲボルグ・マウス「ナチズムにおける法学方法論と司法の機能（翻訳）」 『法律時報』 五七卷八号 一九八五年
- 12 H・ロットロイトナー編・ナチス法理論研究会訳『法、法哲学とナチズム』（みすず書房） 一九八七年
- 12 「本人無権代理人相続事件——民法一一七条の責任の相続（最判昭和四八年八月三日）」 石田喜久夫・湯浅道男編『判例演習民法Ⅰ民法総則』（成文堂） 一九八八年
- 13 「通路の共同賃借権に基づく妨害排除請求権（東京地判昭和六三年二月二六日）」 『法律時報』 六一卷八号 一九八九年

- 14 リス・フロスト「デンマークの高齢者政策における民主主義と福祉の手段としての法律（翻訳）」
『高齢者社会——その苦悩と政策への挑戦』（日本加除出版） 一九九一年
- 15 「ドイツ成年後見制度の改革（一）」——世話法（Betreuungsgesetz）注解（ドイツ民法第一八九六条）」
『民商法雑誌』一〇五巻四号 一九九二年
- 16 「物権・債権峻別論の現代的意義」
『九州法学会会報』一九九一年 一九九二年
- 17 「短期賃借人と買受人による将来の明渡請求（最判平成三年九月一三日）」
『法律時報』六五巻三号 一九九三年
- 18 「土地掘下事件—物権的予防請求権（大判昭和二二年一月一九日）」
石田喜久夫・湯浅道男編『判例演習民法2物権法』（成文堂） 一九九三年
- 19 「質権（2）——即時取得」
下森定・半田正夫編『別冊法学セミナー司法試験シリーズ（第3版）民法I』（日本評論社） 一九九四年
- 20 「吉野悟著『近世私法史における時効』（一九八九年）（書評）」
『Hisotira Juris比較法史研究——思想・制度・社会④』 一九九五年
- 21 「第三者の債権侵害と妨害排除」（最判昭和二八年二月一八日）」
『民法判例百選II債権（第四版）』別冊ジュリスト一三七号 一九九六年
- 22 「仮登記と善意取得」（ドイツ民法判例研究・BGH Urteil vom 31. 10. 1980=NJW 1981, 446）」
『アドミニストレーション』三巻四号 一九九七年
- 23 Das reale Bild der Zivilistik im 19. Jahrhundert in Deutschland
『アドミニストレーション』第四巻三・四合併号 一九九八年

- 24 「相続させる」遺言と登記手続について（最判平成七年一月二四日・仙台地判平成九年八月二八日）
『アドミニストレーション』五卷二号 一九九八年
- 25 「石田文次郎『財産法における動的理論』（一九二八年）」
加藤雅信編集代表『民法学説百年史』（三省堂）一九九九年
- 26 「二〇〇〇年学界回顧（ドイツ法・私法）」
『法律時報』七二卷一三号 二〇〇〇年
- 27 「耳野健二『サウイニーの法思考——ドイツ近代法学における体系の概念』（一九九九年）（書評）」
『Hisotira Juris 比較法史研究——思想・制度・社会⑨』 二〇〇一年
- 28 「第三者の債権侵害と妨害排除（最判昭和二八年一月一八日）」
『民法判例百選Ⅱ債権（第五版）』別冊ジュリスト一六〇号 二〇〇一年
- 29 「二〇〇一年学界回顧（ドイツ法・私法）」
『法律時報』七三卷一三号 二〇〇一年
- 30 「販売目論見書法、有価証券の寄託及び調達に関する法律（翻訳）」
『外国証券関係法令集・ドイツ』（財団法人・日本証券経済研究所） 二〇〇二年
- 31 「種類債権の特定（最判昭和三〇年一〇月一八日）」「制限超過利息の返還請求（最大判昭和四三年一月一三日）」「自然債務（大判昭和一〇年四月二五日）」「第三者の債権侵害と不法行為（大判大正四年三月一〇日）」「第三者の債権侵害と妨害排除（最判昭和二八年二月一八日）」
奥田昌道・安永正昭・池田真朗編『判例講義・民法Ⅱ債権』（悠々社） 二〇〇二年
- 32 「貸室の原状回復条項と通常の使用による損耗汚染（大阪高判平成二二年八月二二日）」
『法律時報別冊・私法判例リマックス』二五号 二〇〇二年
- 33 「二〇〇二年学界回顧（ドイツ法・私法）」
『法律時報』七四卷一三号 二〇〇二年

- 34 「建物明渡時における賃借人の原状回復義務に関する特約の効力（東京地判平成二二年二月一八日）」
『法律時報』七五卷一号 二〇〇三年
- 35 「『相続させる』遺言による不動産取得を第三者に対抗するための登記の要否（最判平成一四年六月一〇日）」
『法学教室』二六八号 二〇〇三年
- 36 「筏津安恕著『私法理論のパラダイム転換と契約理論の再編』を読んで」
ホセ・ヨンバルト・三島淑臣・長谷川晃編『法の理論』二二二号 二〇〇三年
- 37 「オフィスビルの賃貸借と原状回復特約（東京高判平成二二年二月二七日）」
『アドミニストレーション』一〇卷一―二号 二〇〇三年
『法の科学』三三三号 二〇〇三年
- 38 「原島重義『法的判断とは何か』」
Hidetake Akamatsu, 《Kommentierung bei M. Ishidem, T. Isomura, Z. Kitagawa, H. G. Leser, J. Murakami und H.-P. Marutschke (Hrsg.), Japanische Entscheidungen zum Bürgerlichen Recht I. Allgemeiner Teil und Sachenrecht in deutscher Übersetzung mit rechtsvergleichenden Kommentierungen, p41 (Nr.1), pp.137-138 (Nr.14), p.153 (Nr.16), p.199 (Nr.24), pp.241-242 (Nr.31), p.330 (Nr.46), p.337 (Nr.47)》, Carl Heymanns Verlag 2004
- 40 「不法原因『給付』の意義（最判昭和四五年一〇月二一日）」
板橋郁夫・家崎宏・湯浅道男・若原紀代子・藤井俊二編『民法判例三〇講（債権法）』（成文堂）
二〇〇四年
- 41 「被相続人の占有により完成した取得時効を共同相続人が援用できる範囲（最判平成一三年七月一〇日）」
『岡山大学法学会誌』五四卷四号 二〇〇五年

- 42 「相続財産の共有と相続財産中の可分債権（最判平成一六年四月二〇日）」
『法律時報』七七卷四号 二〇〇五年
- 43 「種類債権の特定（最判昭和三〇年一〇月一八日）」「制限超過利息の返還請求（最大判昭和四三年一二月一三日）」「自然債務（大判昭和一〇年四月二五日）」「第三者の債権侵害と不法行為（大判大正四年三月一〇日）」「第三者の債権侵害と妨害排除（最判昭和二八年二月一八日）」
奥田昌道・安永正昭・池田真朗編『判例講義・民法Ⅱ債権』（補訂版）（悠々社） 二〇〇五年
- 44 「第三者の債権侵害と妨害排除（最判昭和二八年二月一八日）」
『民法判例百選Ⅱ債権（第五版新法対応版）』別冊ジュリスト一六〇号 二〇〇五年
- 45 ヨアーヒム・リュッケルト「フリードリッヒ・カール・フォン・サヴィニー、法学の方法、そして法のモデルネ」（日本語訳担当）
河内宏・大久保憲章・采女博文・児玉寛・川角由和・田中教雄編『（原島重義先生傘寿記念）市民法学の歴史的・思想的展開』（信山社） 二〇〇六年
- 46 （書評）《Rolf Knütel, Shigeo Nishimura (Hrsg.), Hundert Jahre Japanisches Zivilgesetzbuch (Japanisches Recht 38 Heymanns, Köln-Berlin-München 2004. 399 S.)》
Zeitschrift für Neuere Rechtsgeschichte 28. Jahrgang 2006 Nr. 3/4 2006
- 47 「誌上答練Advanceコース民法」『受験新報』六八一号〜八〇五号 二〇〇七年〜二〇一八年（連載中）
- 48 「書評」児玉寛『『サヴィニーと』法律解釈の一義的明晰性ルール』断章Ⅰ』河内宏・大久保憲章・采女博文・児玉寛・川角由和・田中教雄編『市民法学の歴史的・思想的展開（原島重義先生傘寿記念）』（信山社、二〇〇六年）、同「サヴィニーの類推論について・断章Ⅱ」林信夫・

佐藤岩夫編『広中俊雄先生傘寿記念論集』法の生成と民法の体系（創文社、二〇〇六年）

『法制史研究』五七号 二〇〇八年

49 「新司法試験・論文問題の分析・民事系科目（第一問）（民法）」『受験新報』六九〇号 二〇〇八年

50 「民法典体系のあり方をどう考えるか——パンデクテン、インスティトゥティオーネン、その他」

椿寿夫・新美育文・平野裕之・河野玄逸編『法律時報増刊』民法改正を考える（日本評論社）二〇〇八年

51 「第三者の債権侵害と妨害排除（最判昭和二八年一月一八日）」

『民法判例百選Ⅱ債権（第六版）』別冊ジュリスト一九六号 二〇〇九年

52 「新司法試験論文問題の分析・民事系科目第二問（第一問～三）（民法）」

『受験新報』七〇二号 二〇〇九年

53 「物権変動の時期（一）特定物の売買」「物権変動の時期（二）解除条件付売買契約」「物権変動の

時期（三）不特定物の売買」

松本恒雄・潮見佳男編『判例ブラクティス民法Ⅰ総則・物権』（信山社）二〇一〇年

54 「公認会計士試験選択科目対策直前講座・民法」『税経セミナー』二〇一〇年七月号 二〇一〇年

55 「平成二二年度新司法試験・論文問題と解説・民事系科目第二問（第一問～二）（設問五）（民法）」

『受験新報』七一四号 二〇一〇年

56 「共有持分権に基づく抹消登記請求の可否」（最判平成二二年四月二〇日）」

『民商法雑誌』一四二巻四・五号 二〇一一年

57 「平成二三年度公認会計士試験・論文式試験・選択科目重点対策」

『税経セミナー』二〇一一年七月号別冊付録 二〇一一年

- 58 「新司法試験・論文式問題と解説二〇一一・民事系科目〔第一問〕」
『受験新報』七二六号 二〇一一年
- 59 「平成二三年度公認会計士試験論文式試験・全問題と模範解答（民法）」
『税経セミナー』二〇一一年一〇月号別冊付録 二〇一一年
- 60 「司法試験・論文式問題と解説二〇一二・民事系科目〔第一問〕」『受験新報』七二八号 二〇一二年
- 61 「平成二四年度公認会計士試験論文式試験選択科目ラストチェック・民法」
『税経セミナー』二〇一二年九月号 二〇一二年
- 62 『Law School and Legal Clinic in Japan』
『法学研究』（忠北大学校・法学研究所）二三卷二号 二〇一二年
- 63 「司法試験 論文式問題と解説二〇一三・民事系科目〔第一問〕」『受験新報』七五〇号 二〇一三年
- 64 「相続財産の共有と相続財産中の可分債権」
末川民事法研究会編『最高裁判例研究・第二卷』（日本評論社） 二〇一三年
- 65 「日本リーガル・クリニック（臨床教育）の現状と示唆点——九州大学での経験を中心に（招待講演）」
『釜山大学校・法学研究』、五五卷一号 二〇一四年
- 66 「司法試験 論文式問題と解説二〇一四・民事系科目〔第一問〕」『受験新報』七六二号 二〇一四年
- 67 「第三者の債権侵害と妨害排除（最判昭和二八年二月一八日）」
中田裕康・窪田充見編『民法判例百選Ⅱ債権（第七版）』別冊ジュリスト二二四号 二〇一五年
- 68 九州大学法学部百年史編集委員会「九州大学法学部・法科大学院の歩み——一九二四年
（法文学部創設）から二〇一二年まで——」（担当部分：第一編第七章および第二編）

- 69 「司法試験・論文式問題と解説二〇一五（民事系科目第一問）」 『法政研究』八一巻四号 二〇一五年
 『受験新報』七七四号 二〇一五年
- 71 「司法試験・論文式問題と解説二〇一七（民事系科目第一問）」 『受験新報』七九八号 二〇一七年

IV 学会発表等

- 1 「ドイツにおける物権・債権峻別論の展開」 日本私法学会第五〇回大会（明治学院大学） 一九八六年
- 2 「物権・債権峻別論の現代的意義」 九州法学会第八三回大会（九州大学） 一九九一年
- 3 「『使命』の誕生とその情況——サヴィニーの手稿『政治。最近の諸立法』について」 比較法史学会第二回夏期例会（関西セミナーハウス） 一九九五年
- 4 「日本の判例におけるドイツ民法典への依拠」(独語報告) マックス・プランク・ヨーロッパ法史研究所シンポジウム「ドイツ民法典と裁判官」(フランクフルト(マイン)) 一九九九年
- 5 「サヴィニーとフランス民法典—実証化するサヴィニー研究」 第三三九回法制史学会近畿部会（同志社大学） 一九九九年
- 6 「日本におけるオイゲン・エールリッヒの受容、法社会学および民法学」(独語報告) ルードヴィヒ・ボルツマン・比較法制研究所シンポジウム「日本法の近代化に与えたオーストリアの影響」(ウィーン大学) 二〇〇三年
- 7 「近世日本における演劇の法」(独語報告) 「著作権法の歴史と未来」研究会（ベルリン大学） 二〇一一年

- 8 「日本におけるサヴィニー受容の諸相とサヴィニー像」(独語報告)
マックス・プランク・ヨーロッパ法史研究所シンポジウム「国際的なサヴィニー?」
(フランクフルト(マイン)) 二〇一一年
- 9 「日本における債務法改正と私的自治―契約、合意および個人意思」(独語報告)
中国政法大学中德法学院主催、ドイツ学術交流会(DAAD)・コンラート・アデナウアー財団
(KAS) 後援、大会「私的自治―課題と限界―」(中華人民共和国北京市) 二〇一三年
- 10 「サヴィニーの一八三七年プロイセン著作権法に対する寄与―大学教師としてのサヴィニー
および彼の法理論」(独語報告)「著作権法の歴史と未来」研究会(ゴータ市庁舎) 二〇一三年
- 11 「裁判官による法の発展的形成の限界―日本最高裁判所の二つの家族法判例に即して」(独語報告)
ドイツ学術交流会(DAAD) 東アジア同窓法学者シンポジウム「裁判官の独立、独立の
保障、法の発展的形成」国立政治大学(中華民国台北市) 二〇一三年
- 12 「サヴィニーにおける複製禁止と講義」(独語報告)「
「著作権法の歴史と未来」研究会(ハイデルベルク大学) 二〇一五年
- 13 「サヴィニーの人格権否定・再論」(独語報告)「
「著作権法の歴史と未来」研究会(ハノーファー大学) 二〇一七年